

電子帳簿保存法対応

Microsoft 365 Power Platform を活用した

発生源入力システムの構築

北真一(日本女子大学 管理部システム課)

どんな課題があり、
どう解決したか？



課題：経理課への業務集中



電子帳簿保存法
義務化

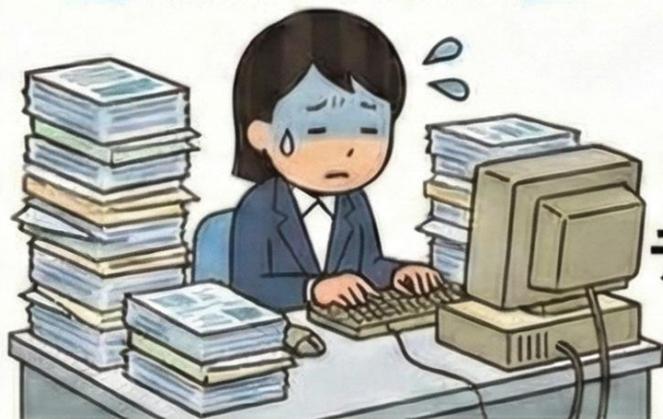


電子取引データは
「電子データ」で保存
※取引日、取引先、金額も
併せて保存が必要

各部署
(Sales, HR, etc.)



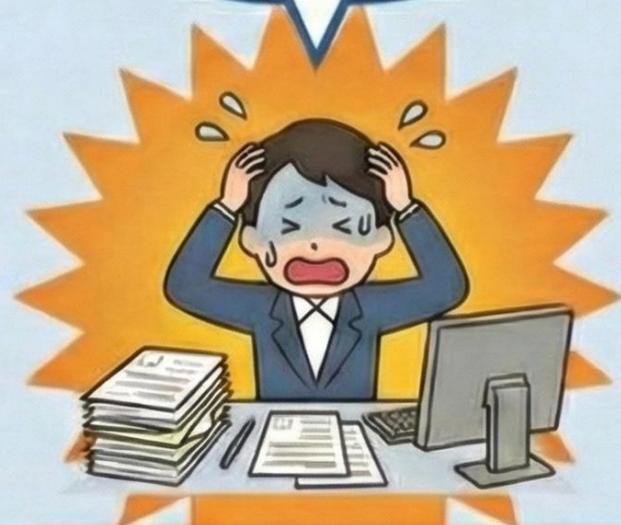
紙の
伝票



電子
データ

経理職員：紙と電子の二重管理
(手作業)
紙伝票の入力に加え、電子データの
登録作業も手入力で登録!

切実な願い：
なんとかして!

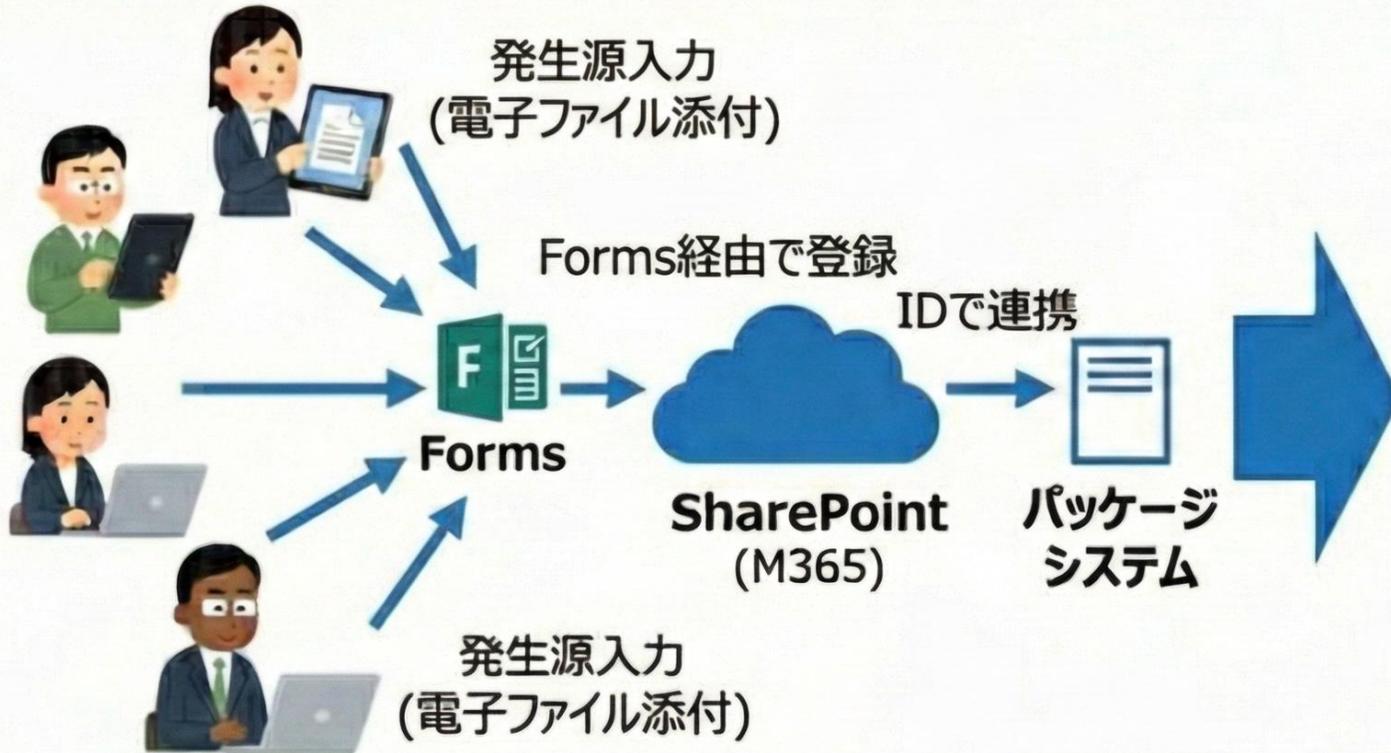


業務負荷が著しく増大

伝票処理
+
新たな登録作業

解決策：発生源入力への転換と効果

発生源入力への転換



教職員がFormsを介してSharePointに電子ファイルを登録し、IDでパッケージシステムと連携する仕組みを構築

効果：経理業務の大幅効率化



導入効果：業務負荷の大幅軽減、自動採番・連携、リードタイム短縮

システム構築の方針

Microsoft 365 活用

 M365



導入済み M365
(Power Platform) を全面活用

追加コストゼロ



追加ライセンス費用や
開発コストをかけずに実現

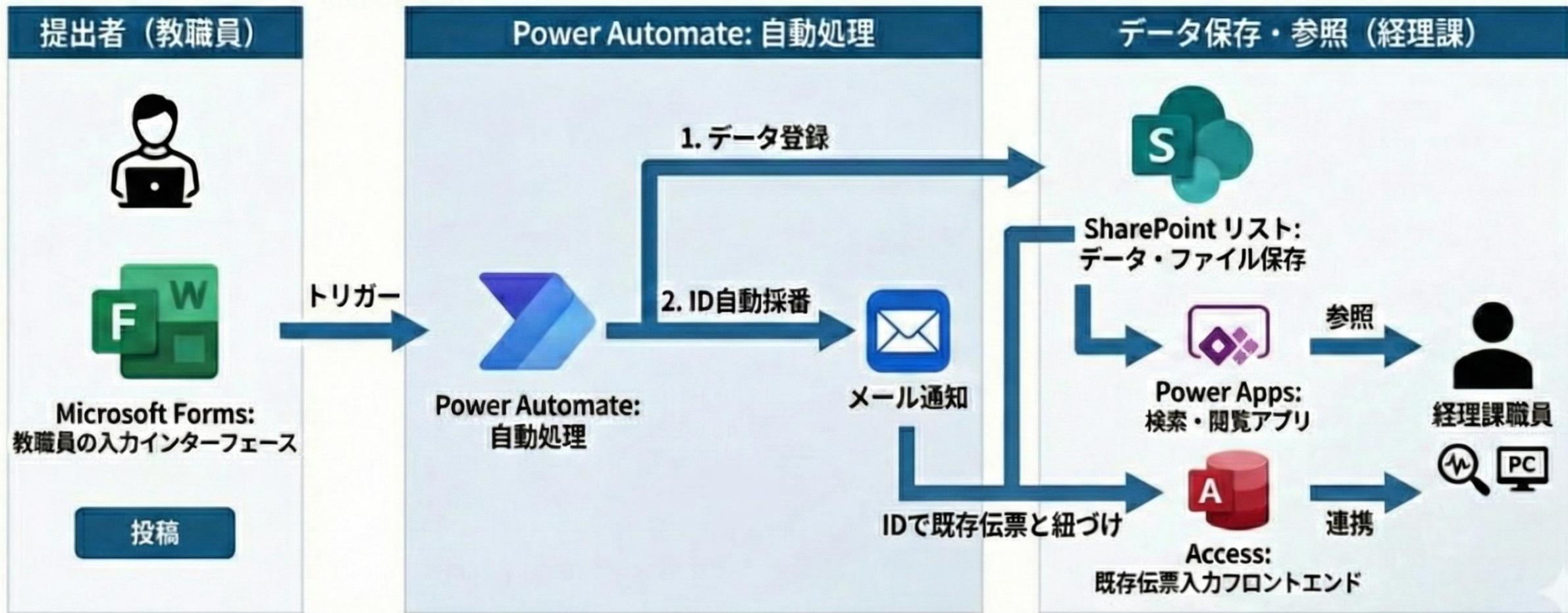
迅速な内製開発



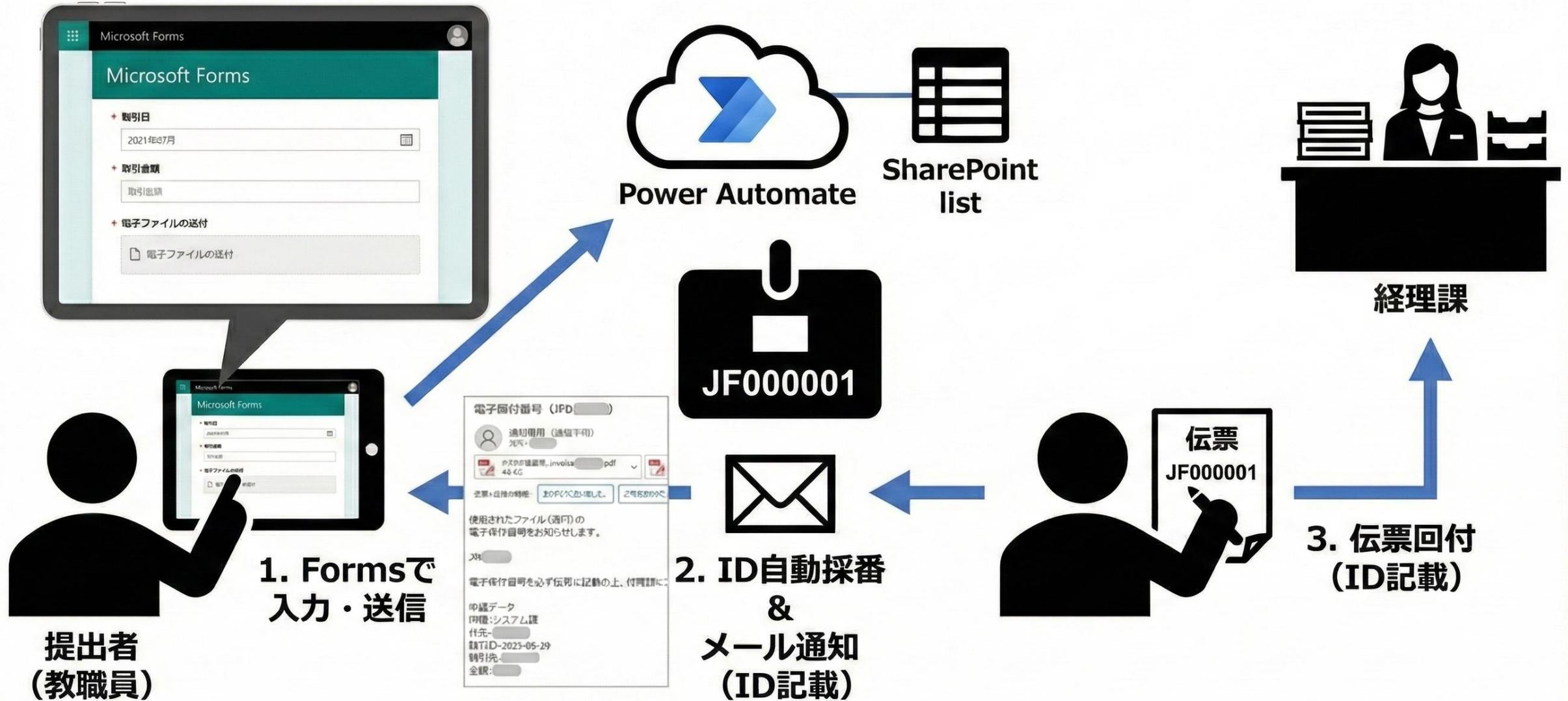
情報システム部門による内製で、
迅速なシステム開発と導入を実現

最大限の効果

システム全体構成図



改善後の業務フロー (1) 提出者



改善後の業務フロー（2） 経理課

1. 伝票入力 (IDを備考欄へ)



経理スタッフ

2. リンク自動生成 (AccessでPower Apps リンク作成)



3. 即座にデータ確認 (ワンクリックで 電子ファイル表示)



4. 登録作業の廃止 (手作業によるファイル受信・ 登録・ナンバリングが不要)



✓ 業務負荷が
大幅軽減!

ポイント: 既存システムの「備考欄」を連携キーとすることで、システム改修なし・追加コストゼロでデータ参照を実現!

訂正発生時の対応、検索機能の実装



- 経理課の要望で、訂正用申請画面を作成した。
- 訂正時は、上長・経理課長の承認を経て登録する仕組みとした。
- 訂正データは「関連ID」で紐づけ、画面リンクから相互に辿れるようにした。
- これにより、データの正確性と正当性を担保。
- 電帳法要件（取引先、取引日、金額）で検索・絞込できる画面を作成した。

電子取引データ参照

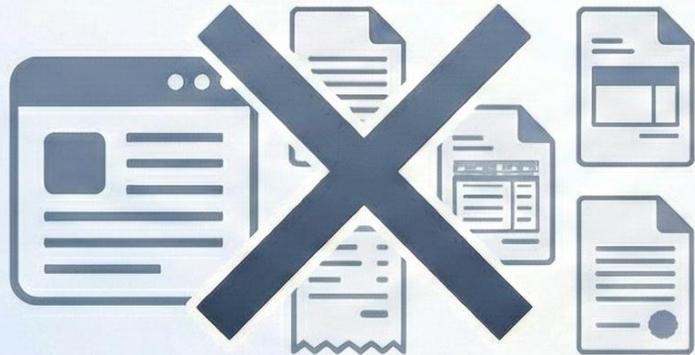
電子ファイルID	JF000019	テスト2_米嶋 卑人.docx
所属	システム課	
氏名	本城 卑人	
日付	2023年6月16日	
取引先	株式会社システムディ	
金額	1200000	
番号1		
関連ID	JF000016	訂正有無 あり 東西日 <input type="text"/> 更新日 2023年10月6日 11時11分

導入効果：定量的な成果

13,500+

件の申請（電子ファイルID発行数）を自動化

（※1申請につき、領収書・請求書など複数ファイルを含むため、実際のファイル数はさらに膨大）



経理課職員の1申請ごとのファイル受信、内容確認、登録、ファイリング作業が不要に。



発生源入力により、伝票処理全体のリードタイム短縮に貢献。



システムは日々の業務基盤として安定稼働。

導入のポイントと考察

既存システムとの柔軟な連携



- ・ パッケージシステム本体は一切手を加えず
- ・ 「備考欄」の活用と簡易ツールで連携を実現
- ・ 大規模なカスタマイズ費用と時間を回避

低コストでのDX推進



- ・ 既存のM365ライセンス内で構築
- ・ 追加費用ゼロ・内製化により開発コストも抑制
- ・ ペーパーレス化の推進にも貢献

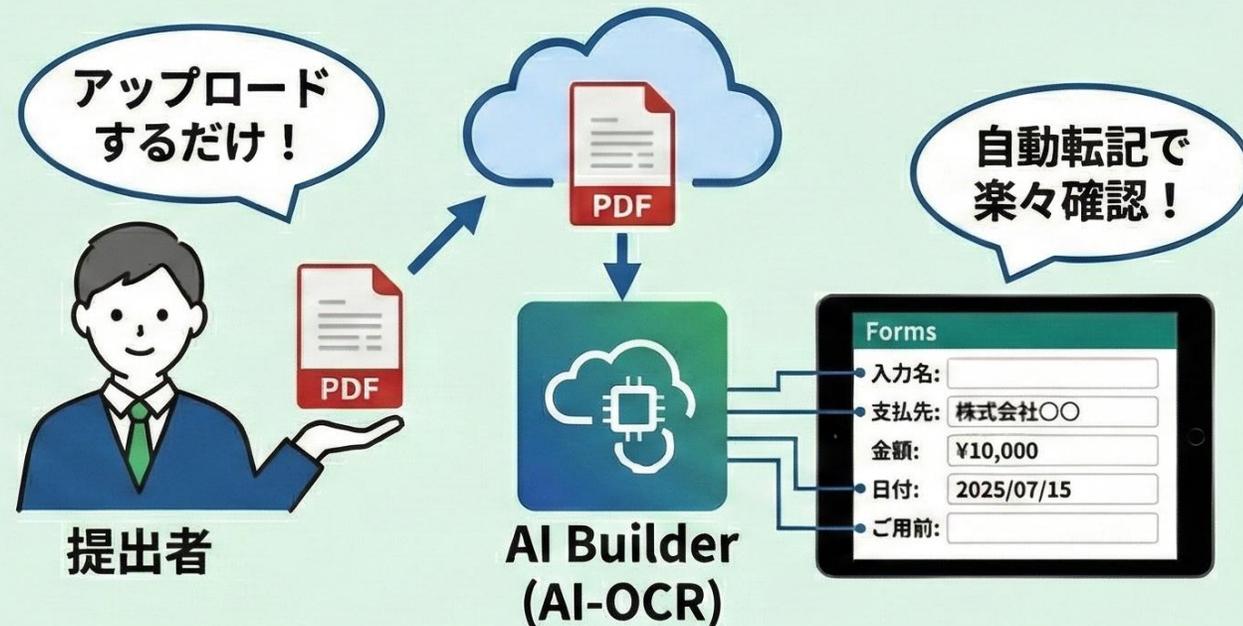
成功要因

今後の展望：AI-OCRによる入力支援機能の強化

Before: 現状の入力作業



After: AI-OCR導入後



期待される効果

- 提出者の入力負担が大幅に軽減
- 入力ミスのさらなる削減
- 業務の迅速化

ご清聴ありがとうございました